

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●西谷凜騎手がJRA初勝利をあげる

4月25日(日)の1回新潟6日・第5レースでは、ハイラブハンターが1着となり、同馬に騎乗した西谷凜騎手(栗東・谷潔厩舎)は、JRA初勝利(56戦目)をあげました。これで今春デビューした新人ジョッキーは8人全員が初勝利をあげたことになります。

●尾関知人調教師がJRA通算300勝を達成

4月24日(土)の2回東京1日・第3レースではルージュフェリックが1着となり、同馬を管理する尾関知人調教師(美浦)は、現役64人目となるJRA通算300勝(延べ3241頭目)を達成しました。

●JRAブリーズアップセール開催

JRA育成馬をセリ方式で売却する「2021 JRAブリーズアップセール(第17回 JRA 育成馬調教セール)」が、4月27日(火)、中山競馬場にて開催されました。上場された73頭(牡38頭・牝35頭)すべてが売却され、総売却価格は8億245万円、平均売却価格は牡馬が1177万円、牝馬が1014.8万円。最高価格をつけたのは、牡馬がノーザンスター2019(父ディーマジスティ/兄に東京ダービー2着のプレイザゲーム)で3410万円、牝馬はピサノレインボー2019(父キンシャサノキセキ/曾祖母が米G2勝ち馬、近親にダンスインザムード)で3630万円でした(価格はすべて税込)。なお昨年の同セールは新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からメール入札方式で実施されましたが、本年は来場馬主132名、オンラインビッド107名が参加して開催となりました。

●ロンジンワールドベストレースホースランキング発表

IFHA(国際競馬統括機関連盟)から恒例の「ロンジンワールドベストレースホースランキング」が発表されました(単位はポンド)。今回の発表は2021年1月1日から4月4日までに実施された世界の主要レースが対象で、サウジCとドバイシーマクラシックの勝ち馬ミシュリフ、ドバイワールドCを制したミスティックガイドが首位タイ(122)。日本調教馬では大阪杯(GI)を逃げ切ったレイパパレが第14位タイ(118)。これは牝馬トップタイのランクとなっています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●東海クイーンC(名古屋)は地元のニジイロ【各地の主要3歳重賞】

東海クイーンC(4月21日、名古屋、1800^米、牝馬)は、3番手から4コーナー手前で先頭に立った1番人気のニジイロ(父トビーズコーナー)が後続に3馬身差を付けて完勝、兵庫クイーンセレクションに次ぐ重賞制覇を果たしました。

●5月5日のかしわ記念(船橋)にカフェアラオが登場

かしわ記念(Jpn I、5月5日、船橋、1600^米)は、フェブラリーSを制したカフェアラオが中心、以下サンライズノヴァ、昨年の覇者ワイドファラオ、カジノフォンテン(船橋)、ソリストサンダー、タイムフライヤー、インティの順に有力視されます。

●5月4日の兵庫チャンピオンシップはゴッドセレクションが有力

兵庫チャンピオンシップ(Jpn II、3歳、5月4日、園田、1870^米)は、伏竜Sの勝ち馬ゴッドセレクションが筆頭格、ロードエクレー、ランスオブアース、リプレーザが続き、JRA所属馬同士の争いとなりそうです。

●テイムサウスダンが参戦、5月3日のかきつばた記念(名古屋)

かきつばた記念(Jpn III、5月3日、名古屋、1400^米)は、黒船賞を圧勝したテイムサウスダンが最有力、前年の優勝馬ラブタスがそれに迫り、ベルダーイメル、ノボバカラ、スマートセラヴィー、ナリタミニスター(兵庫)までが争覇圏内と考えられます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●香港のチャンピオンズデー〜ラヴズオンリーユーがG1制覇

1日に3つのG1をまとめて施行するチャンピオンズデーが4月25日に香港のシャティン競馬場で行われました。そのメイン競走となるG1クイーンエリザベス二世C(3歳上、芝2000^米)を制したのは日本のラヴズオンリーユー(牝5歳、父ディーブインパクト、栗東・矢作芳人厩舎)。地元のC.ホー騎手を背に7頭立ての4番手追走から残り200^米を切ったあたりで先頭に立つと、後方から追い込んだグローリーヴェイズに $\frac{3}{4}$ 馬身差をつけて優勝しました。なお、このレースでは3着にデアリングタクト、4着にキセキが入り、日本調教馬が1〜4着までを占める結果となりました。そのほか、G1チェアマンズプリントプライズ(3歳上、芝1200^米)はA.パデル騎手騎乗のウェリントン(騾4歳、父オールトゥーハード、R.ギブソン厩舎)が中団待機から直線で力強く抜け出してG1初制覇(日本のダノンスマッシュは6着)。G1チャンピオンズマイル(3歳上、芝1600^米)はC.ホー騎手が手綱を取ったゴールデンシックスティ(騾5歳、父メダリアドロ、K.ルイ厩舎)が同じルイ厩舎のモアザンディスの追い込みをアタマ差退けて連勝を14にまで伸ばしました。